

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英会話(advanced)	準備中	選択	1	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama	木曜日 14:30-17:00		
授業の目的・概要	英語で効果的にコミュニケーションを取るために必要な表現を、具体的なシチュエーションを通じて学習する。また、会話運びを円滑に行うフレーズを習得し、具体的に会話を成立させ、目的を果たすための実践的な英会話力の養成を目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	コミュニケーション力の向上のためには実際に会話をすることが重要となる。授業に積極的に参加することはもちろん、クラス外でも意識的に英語を使うことで英会話力をつけることができる。				
教科書	Communication Builder <Revised Edition>/著: Noboru S. Yoshitomi/南雲堂/2009				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	積極的に英語でコミュニケーションをとる態度を身につけている。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
②	適切に英語で会話をはじめることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
③	スムーズに英語で会話を続けることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
④	英語でのコミュニケーションにおいて主導権を持つことができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
⑤	自分の望む流れで英語での会話を進めることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	イントロダクション	講義	学習目標を設定・確認し、教科書 Unit 1 の予習をする。	1	
2	Unit 1: Icebreaking	講義	教科書 Unit 1 の復習をし Unit 2 の予習をする。	1	
3	Unit 2: Describing People (Character)	講義	教科書 Unit 2 の復習をし Unit 3 の予習をする。	1	
4	Unit 3: Describing People (Appearance)	講義	教科書 Unit 3 の復習をし Unit 4 の予習をする。	1	
5	Unit 4: Inviting People	講義	教科書 Unit 4 の復習をし Unit 5 の予習をする。	1	
6	Unit 5: Giving Directions	講義	教科書 Unit 5 の復習をし Unit 6 の予習をする。	1	
7	Unit 6: Complaining & Apologizing	講義	教科書 Unit 6 の復習をする。	1	
8	コミュニケーションの継続	講義	会話を継続させるための具体的な方法について理解する。	1	
9	Unit 7: Giving Advice	講義	教科書 Unit 7 の復習をし Unit 8 の予習をする。	1	
10	Unit 8: Getting Information	講義	教科書 Unit 8 の復習をし Unit 9 の予習をする。	1	
11	Unit 9: Comparing & Contrasting	講義	教科書 Unit 9 の復習をし Unit 10 の予習をする。	1	
12	Unit 10: Talking about Experiences	講義	教科書 Unit 10 の復習をし Unit 11 の予習をする。	1	
13	Unit 11: Interviewing	講義	教科書 Unit 11 の復習をする。	1	
14	異文化コミュニケーションとは	講義	文化的背景の違う相手とのコミュニケーションについて理解する。	1	
15	第14回目までの総復習と講評	講義	これまでの講義内容について復習をする。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		30	0	30	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	10	0	10	0	10	30	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	10	0	10	0	0	20	
	コミュニケーション力	10	0	10	0	10	30	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
		0	0	0	0	0	0	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					フィードバックの方法	
試験	①	✓	学期末に英語でのコミュニケーション力をはかる試験を行い授業で学習したコミュニケーションスキルや語彙、表現が使いこなせているか総合的に評価を行う。					試験の評価
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
成果発表	①	✓	授業中に各回のテーマに沿ったロールプレイを行い、授業中に学習したコミュニケーション技術や語彙、表現などが使いこなせているか総合的に評価を行う。					授業内の教員によるコメントおよび助言
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。					授業内の教員によるコメントおよび助言
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教 員 の 実 務 経 験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士過程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに医療通訳者の育成・普及活動に携わる。							
実 践 的 授 業 の 内 容	英語教授と海外での経験を活かし、まずは英語で会話してみようという積極的な態度を身につけ、英語でコミュニケーションにおいて自分の望む流れで会話を進められる能力が身につくような授業を目指した講義を実施する。							
そ の 他	英語によるコミュニケーションへの積極性や授業への参加度も評価の対象となるため、授業を欠席した日の評価は0点になる。教室内でのスマートフォンやアプリの使用は禁止する。実際のコミュニケーションを重視する授業形態をとるため、感染症の拡大を防ぐ目的でマスク着用を求めるなどの感染症対策措置が求められる場合がある。							